

ミスオオバコ

Ottelia alismoides

トチカガミ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし

種
子
植
物



低地や丘陵地の池沼や水溝に生える1年草。葉は柔らかく、オオバコに似た葉を水中に広げ、深い池などでは大きく、浅い溝などでは小さくて細い。花期は8～10月、水中から縦ひだのあるさやのついた花茎を伸ばし、水面上で円形の3枚の花弁を広げ、径15～25mmの淡紅色の花が咲く。かつて水田や溝などに多くみられたが、農薬の影響や土地開発、ほ場整備などでほとんど消滅してしまった。生育環境は悪化しており、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真・文：荒金正憲)

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地，中津・宇佐低地，英彦山・犬ヶ岳山地，日田低地・丘陵地，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，大野川上流域

分布域 本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
朝鮮半島，中国（東北部），中国，ウスリー，インド，オーストラリア